



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日  
東

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所  
コード番号 2708 URL <https://www.kuze.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也  
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)市川 明夫 (TEL)03(3987)0018  
コーポレートサポート本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,483	18.5	430	—	449	—	614	—
2023年3月期第1四半期	13,065	41.2	△48	—	△36	—	29	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 785百万円 ( —%) 2023年3月期第1四半期 51百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	132.77	—
2023年3月期第1四半期	6.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	21,334	5,176	24.3
2023年3月期	20,794	4,446	21.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 5,176百万円 2023年3月期 4,446百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0 00	—	12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,500	20.3	720	—	750	774.9	700	572.3	151 31
通期	64,000	13.4	1,350	60.2	1,380	53.3	1,250	50.2	270 19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	4,626,327株	2023年3月期	4,626,327株
2024年3月期1Q	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期1Q	4,626,327株	2023年3月期1Q	4,514,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、アフターコロナの動きが進み経済活動は想定以上の回復基調で推移いたしました。一方で円安やウクライナ情勢等に伴うエネルギー価格の高止まり等により諸物価の高騰は続き、人手不足もますます顕著になっております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場につきましては、仕入コストの上昇や人手不足は継続しているものの、繁華街や行楽地への人出の増加や企業活動の活発化、インバウンドの復調もあり集客面では大きな回復が見られました。

当社グループはこのような状況のなか、お客様の課題である人手不足や収益向上、付加価値の向上のための諸施策のご提案を行うことで、サービスの維持・向上を図るとともに、DX化によるお客様の利便性の向上を進めました。また、新規のお客様の開拓を推進し、時代の要請に応えるべく中食・惣菜、給食関連等の業態への営業活動も引き続き強化してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は154億83百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は4億30百万円（前年同期は48百万円の営業損失）、経常利益は4億49百万円（前年同期は36百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億14百万円（前年同期は29百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、市場の回復とお客様への営業活動により、売上高が大きく改善されました。その結果、売上高は140億19百万円（前年同期比18.6%増）、セグメント利益（営業利益）は5億11百万円（前年同期比431.5%増）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。世界的な原材料やエネルギー価格の高騰と円安により仕入コストの上昇が続いておりますが、工場での内製化等によるコスト改善と適正な価格への切り替え、新たな販路拡大を進めました。その結果、売上高は14億39百万円（前年同期比18.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1億18百万円（前年同期比245.3%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は35百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益（営業利益）は27百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億40百万円増加し、213億34百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が2億30百万円減少し、現金及び預金が1億12百万円、商品及び製品が1億42百万円、有形固定資産が2億71百万円、投資有価証券が2億10百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結累計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少し、161億58百万円となりました。これは主として賞与引当金が1億63百万円増加し、支払手形及び買掛金が94百万円、1年内返済予定の長期借入金1億21百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結累計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ7億29百万円増加し、51億76百万円となりました。これは主として利益剰余金が5億58百万円、その他有価証券評価差額金が1億36百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の21.4%から24.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました、業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年8月14日)公表いたしました「業績予想(連結)の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,216	4,329
受取手形及び売掛金	6,649	6,419
商品及び製品	2,914	3,056
原材料及び貯蔵品	320	318
その他	642	627
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	14,729	14,739
固定資産		
有形固定資産	2,664	2,935
無形固定資産	244	235
投資その他の資産		
投資有価証券	1,425	1,636
その他	1,927	1,985
貸倒引当金	△198	△196
投資その他の資産合計	3,155	3,424
固定資産合計	6,064	6,595
資産合計	20,794	21,334
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,798	8,703
短期借入金	667	617
1年内返済予定の長期借入金	1,014	892
未払金	895	861
未払法人税等	121	93
賞与引当金	354	517
その他	523	491
流動負債合計	12,374	12,176
固定負債		
長期借入金	3,204	3,300
役員退職慰労引当金	233	238
退職給付に係る負債	219	224
資産除去債務	97	97
その他	218	120
固定負債合計	3,973	3,982
負債合計	16,348	16,158

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	999	999
利益剰余金	2,664	3,223
株主資本合計	3,764	4,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538	675
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	129	165
退職給付に係る調整累計額	12	12
その他の包括利益累計額合計	682	852
純資産合計	4,446	5,176
負債純資産合計	20,794	21,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	13,065	15,483
売上原価	10,246	12,027
売上総利益	2,818	3,456
販売費及び一般管理費	2,866	3,025
営業利益又は営業損失(△)	△48	430
営業外収益		
受取事務手数料	14	15
受取配当金	2	3
その他	14	24
営業外収益合計	32	43
営業外費用		
支払利息	13	14
支払手数料	4	9
その他	2	0
営業外費用合計	20	24
経常利益又は経常損失(△)	△36	449
特別利益		
国庫補助金	—	80
特別利益合計	—	80
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	11
特別損失合計	0	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36	518
法人税、住民税及び事業税	23	82
法人税等調整額	△89	△178
法人税等合計	△65	△95
四半期純利益	29	614
親会社株主に帰属する四半期純利益	29	614

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	29	614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	136
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	29	35
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	21	170
四半期包括利益	51	785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51	785
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,820	1,219	1	13,041	23	13,065
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	33	36	—	36
計	11,823	1,219	34	13,078	23	13,101
セグメント利益又は損失 (△)	96	34	25	155	△8	147

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	155
「その他」の区分の損失(△)	△8
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△196
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△48

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,014	1,439	1	15,456	27	15,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	33	37	0	37
計	14,019	1,439	35	15,494	27	15,521
セグメント利益又は損失 (△)	511	118	27	658	△12	645

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	658
「その他」の区分の損失(△)	△12
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△214
四半期連結損益計算書の営業利益	430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	8,850	1,015	—	9,865	22	9,887
中京圏	538	38	—	576	1	577
関西圏	1,607	109	—	1,716	—	1,716
海外・その他	824	57	—	881	—	881
顧客との契約から生じる収益	11,820	1,219	—	13,040	23	13,063
その他収益	—	—	1	1	—	1
外部顧客への売上高	11,820	1,219	1	13,041	23	13,065

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	10,902	1,167	—	12,070	26	12,096
中京圏	592	44	—	637	0	637
関西圏	1,570	129	—	1,700	—	1,700
海外・その他	948	97	—	1,046	—	1,046
顧客との契約から生じる収益	14,014	1,439	—	15,454	27	15,482
その他収益	—	—	1	1	—	1
外部顧客への売上高	14,014	1,439	1	15,456	27	15,483

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。